

日本海を越えていく



習慣は第二の天性

校長 沼崎 幸治

粟島浦小中学校では今年度から新たにスクールランチ（給食）が始まりました。これまでは週2回のお弁当給食の提供でしたが、週5回の温かいご飯とお汁、主菜、副菜のそろった給食をいただくことができるようになりました。実現に向けてご尽力いただいた関係機関の皆様、そして日頃より学校を支えてくださっている保護者の皆様に、心より御礼申し上げます。

衛生面、安全面に十分配慮しながら、おいしくいただくとともに、スクールランチ（給食）を「生きた学びの場」として有効に活用していきたいと考えています。

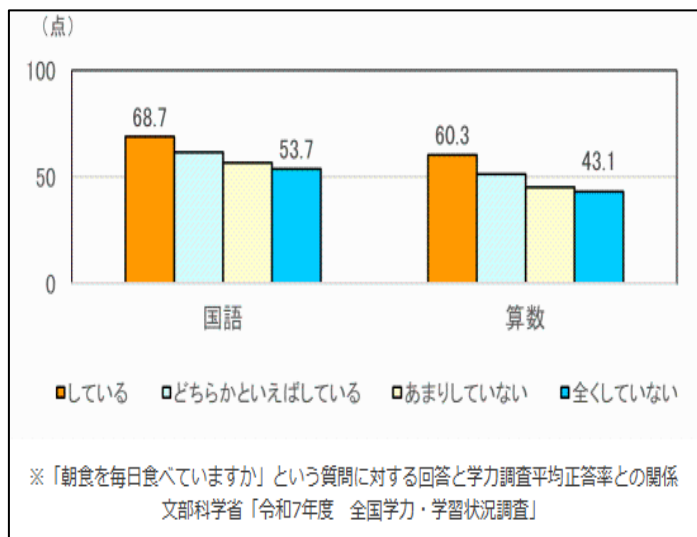


【学校における食育の位置づけ（食育基本法全文 要約）】

食育は、**生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるもの**であり、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる食育を推進することが求められている。

食べることは、健やかな成長を支える上で大切なことはもちろんですが、食という漢字は「人を良くする」とも言われます。おいしく給食をいただく中で、子どもたちが豊かな心を育み、さまざまな気づきを得てくれることを願っています。

- 食材を育てる人、調理してくれる人、食材そのものなどへ感謝の気持ちをもつこと。
 - 給食を通して友達や先生との会食のマナーを身に付け、よりよい人間関係を深めること。
 - 食材がどこで作られ、どのように運ばれてくるのかを知り、社会への関心を広げること。
- このような学びにつなげていきたいと考えています。



望ましい食習慣は、子どもの時だけでなく大人になっても、健康な体づくりには欠かせないものです。栄養バランスのとれた食事、一日三食をきちんと摂ることなど、改めて生活習慣を見直すきっかけにしたいものです。

特に朝食と学力には深い関係があると言われています。全国学力・学習状況調査の結果でも、朝食を食べている子どもとそうでない子どもの間には差が見られます。(R7全国学調結果 文科省より) 朝食を食べるためには早起きが必要で、早起きをするためには早寝が大切です。そして早寝のためには、メディアとの付き合い方を考えることも欠かせません。

「習慣は第二の天性」身についた習慣が生まれつきの性質のように人の行動や性格に深く影響すると言われています。給食の開始が子どもたち一人一人の生活習慣を見つめ直す良いきっかけになることを願っています。

わかめ採り

4月9日(木)～11日(土)にわかめ作業を行いました。今年は、8日が海上時化のため1日ずらしての作業でした。

9日は、わかめ落とし、わかめ洗い、わかめ干しの作業です。まずは、中学生が、わかめを葉、茎、めかぶに分け、わかめを水洗い、干す作業を行いました。小学生は、めかぶのグラム数を正確に計り袋詰めしたり、茎を芯切り機にかけて細かくしたりしました。

11日は袋詰め作業です。乾燥したわかめを決められた長さで切り、袋詰めをしました。児童生徒は海の恵みに感謝し、楽しみながら活動しました。

今年度も保護者・地域の方々、御協力ありがとうございました。



避難訓練&起震車体験

4月17日(金)に避難訓練(火災を想定)と起震車体験を行いました。避難経路の確認、「おはしも」の徹底、ハンカチを常備すること、などを児童生徒ともに確認し、避難訓練に臨みました。今回は理科室からの出火で山側の階段を通過してグラウンドまで避難しました。

午後は起震車体験をしました。過去の地震を再現し震度7まで体験することができました。阪神・淡路大震災や熊本地震、今後想定される南海トラフ地震などの揺れを体験しました。震度の大きさによる違いや縦揺れ、横揺れによる違いがわかり、怖さを感じながらも貴重な体験ができました。

4月は、27日に十勝地方(北海道)で震度5強、20日に三陸沖で震度5強、18日に長野で震度5強と地震が起きています。いつ起きかわからない災害に備えて、日ごろから準備(避難経路の確認、防災グッズの準備など)をしておくことの大切さを考えることができました。



5月の予定

1日(金)	創立記念日、全校集会、内科検診 島びらき(~2日)	13日(水)	児童生徒総会
7日(木)	学校生活アンケート、全国学調(英)	15日(金)	歯科検診
8日(金)	専門委員会	20日(水)	専門委員会
9日(土)	健康ウォーク(雨天時は午前授業参観)	21日(木)	交流学習(中)(~22日)、小クラブ
11日(月)	振替休業日	26日(火)	マラソン大会(予備日27日)
		28日(木)	修学旅行(小)(~29日)

